

## 会長巻頭言



### 飯沼 良介

IINUMA Ryosuke

一般社団法人日本プライベート・エクイティ協会 会長  
 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長

当協会も2024年9月より20期目を迎えます。2005年8月に8社でスタートしましたが、2024年7月2日の理事会終了時点で、正会員69社、賛助会員126社となり約200社が参加する協会に発展してきています。会員数の増加が物語るように、国内の案件数も引き続き堅調に伸びており、ベイン・アント・カンパニー様のレポートによると、2023年の国内投資金額は6兆円(過去最高は2021年の3.1兆円)に迫る勢いとなっています。

さて、早いもので協会長を拝命して1年が経過いたしました。今年度も、数多くの新しい取り組みがございました。協会史上初めて理事会に女性(2名)のメンバーが誕生し、以前より視点を変えた議論も闊達に行われるようになったように感じています。因みに、総会後の協会関連の全てのイベントでは受付が男女混合で行われるようになってきました。昨年10月にはPRI in Personが初めて日本で開催されましたが、サイドイベントを共同開催させていただきました。本年6月には経済産業省様を中心となって進めています国内の中堅企業の成長促進のための「中堅、中小成長促進補助金の創設」に関し、対象となる中堅企業の選定審査に協会メンバーから17名が協力いたし

ました。同月には、日本ベンチャーキャピタル協会(JVCA)様との初のコラボイベントを開催し、VCからPEへのシームレスな投資の事例(VCのエグジットとしてのPEのグロス投資)をベースに積極的な意見交換がなされました。今後もJVCA様とは連携をとりながら、案件ベースで勉強会の開催を検討し、よりグロス案件の取り組みが活性化することを期待したいと考えています。昨年より開始しました協会メンバーの投資先における「雇用創出とDEIの促進」レポートについては、今年度よりKPMG FAS様にご協力を得ることとなりました。同レポートよりPEファンドが投資先において雇用を創出していること、とりわけ女性役職員の構成比向上に貢献していることが分かります。毎年恒例のPE協会Awardは、「エントリー部門」、「エグジット部門」、「ESG部門」の3賞として賞の明確化に取り組みました。本ニュースレターが配布される協会総会のタイミングで同3賞が発表されますが、今年は何の案件が獲得するのか楽しみです。尚、賞を受賞した案件につきましてはレコフデータ様との協業により、同社発刊のマールオンラインにて案件の詳細などを掲載いただく予定です。

こうした協会活動がより活性化していますのは協会の正会員、賛助会員の皆様の温かいご協力によるものであり、また、理事会メンバーの方々や4委員会の委員長をはじめとする委員のメンバーの方々の多大なご尽力の結果だと考えております。この場を借りて、皆様に心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

## 2023年度 理事・監事一覧

会長・代表理事	飯沼 良介	アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長
副会長・理事	廣本 裕一	ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長
	金田 欧奈	ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社 代表取締役社長
理事	加笠 研一郎	MBKパートナーズ株式会社 共同代表取締役/パートナー
	檜山 雄樹	J-STAR株式会社 パートナー
	清塚 徳	サンライズキャピタル株式会社 代表取締役社長
	平野 博文	アジア地域プライベートエクイティ 共同代表 KKRジャパン 代表取締役社長
	福崎 昇平	株式会社丸の内キャピタル 取締役 チーフインベストメントオフィサー マネージングディレクター
	三井 麻紀	Carlyle Japan Equity Management LLC マネージング ディレクター/パートナー
	三村 智彦	エンデバー・ユナイテッド株式会社 代表取締役
監事	岡 俊子	株式会社岡&カンパニー 代表取締役
	杵山 幸功	シーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン 代表取締役 日本共同代表 パートナー

# 日本におけるプライベート・エクイティ市場の概観

## 概説

日本のプライベート・エクイティ (PE) 市場における年間案件総額は現在約 200 億ドル以上に上り、主に大規模案件が増加したことによって、直近 5 年間成長傾向にある。しかし、アメリカやドイツといった他の先進国市場と比べると小規模に留まっている。プライベート・エクイティ案件の大半をバイアウトが占め、対象業界は多岐にわたる。

日本で活動する PE ファームには、国内ファームと海外ファームの日本拠点の双方が含まれ、後者はより大規模案件に重点を置く傾向がある。PE ファームによる買収企業の平均保有期間は 5 年で、近年はセカンダリー取引の比重が高くなっているもの

の、事業会社への売却または IPO を通じてイグジットに至るのが一般的である。

直近の案件にみられる主要傾向として、コーポレート・カープアウト (特に大規模案件)、オーナー/創業者による事業承継 (特に中小規模案件)、および後期ステージにあるスタートアップ企業へのグロース投資が挙げられる。

## 日本の PE 市場の規模と成長

日本の PE 市場は 2000 年代初めに台頭し、2007 年まで急速な成長を見せたものの、その後の世界金融危機の影響を受け、案件総額は長期間にわたり低い水準で推移した。2016 年以降は大規模案件により市場は大幅に伸長し、直近数年では年間

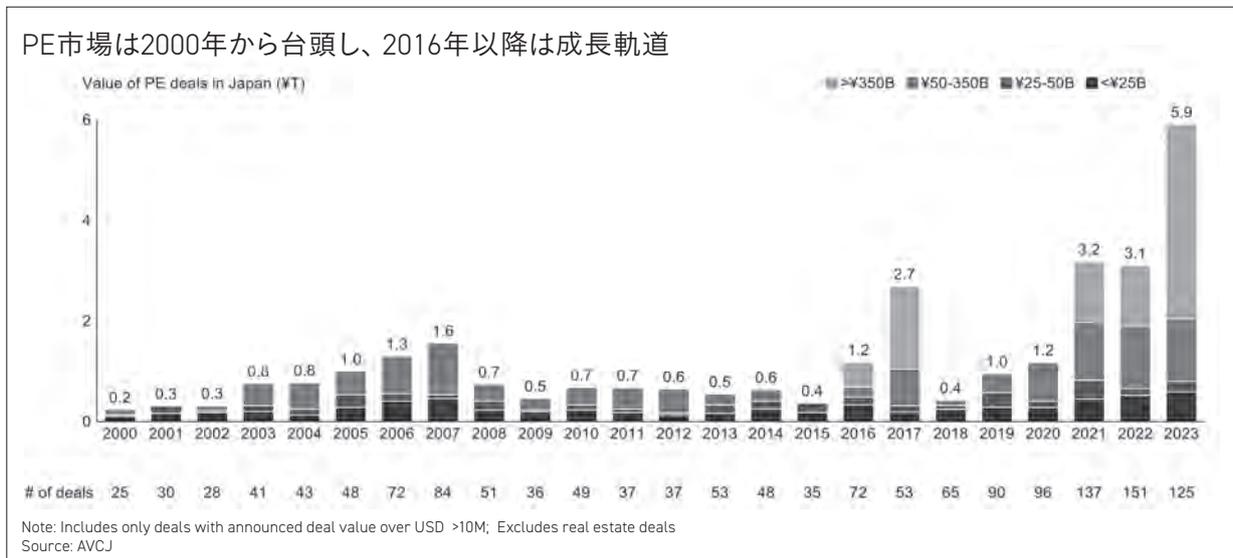


図1：日本のPE市場における案件額と件数

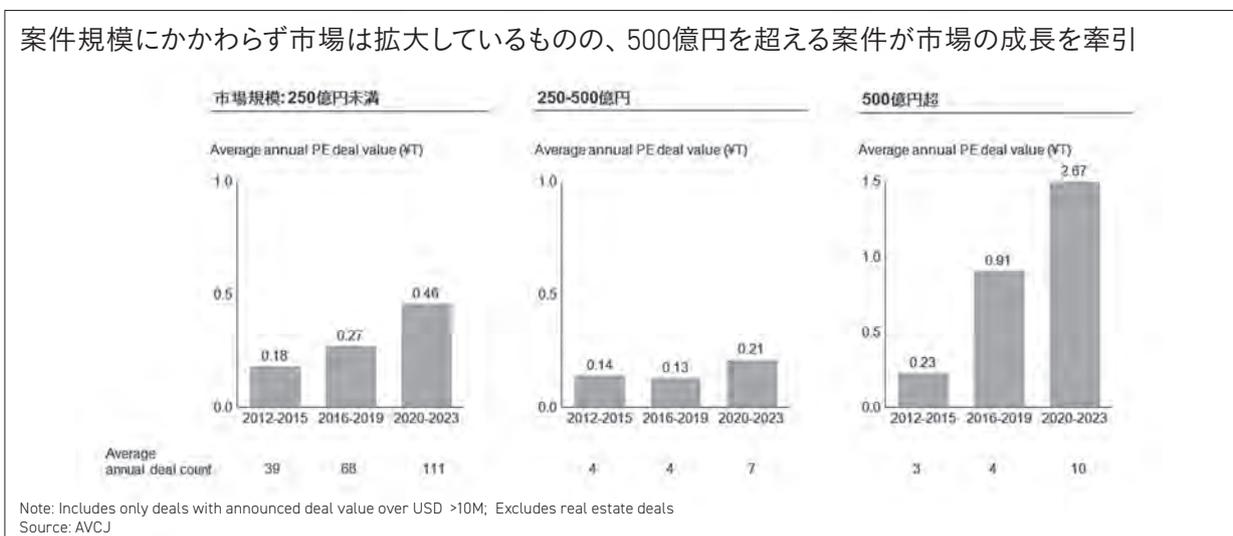


図2：案件規模別に見た日本のPE市場

200億ドル超の案件総額を記録している。単年ごとで見ると、少数ながらも大規模案件の有無によって案件総額が大きく変化することから市場は変動しやすいものの、案件数は安定して推移、成長している。

日本のPE市場においては特定の業界への目立った傾斜は見られないが、小規模案件の大部分は成長の著しい業界（ITやコンピューター／ソフトウェアなど）で実施され、大規模案件はサー

ビス、ソフトウェア、製造関連の業界で存在感の大きさを示している。

## 世界規模でみた日本のPE市場の規模と成長

PE市場をGDP比で見ると、日本は他の先進国と比べて小規模に留まっており、例えばドイツやアメリカなどに比して2分の1から3分の1程度となっている。これは、M&A案件に占めるPEの割合が低いことも原因ではあるが、そもそも他国の市場では

日本のPE市場は対GDP比で他国に比べ小規模に留まっており、その要因はM&A案件に占めるPEの割合よりもM&A案件の少なさにある

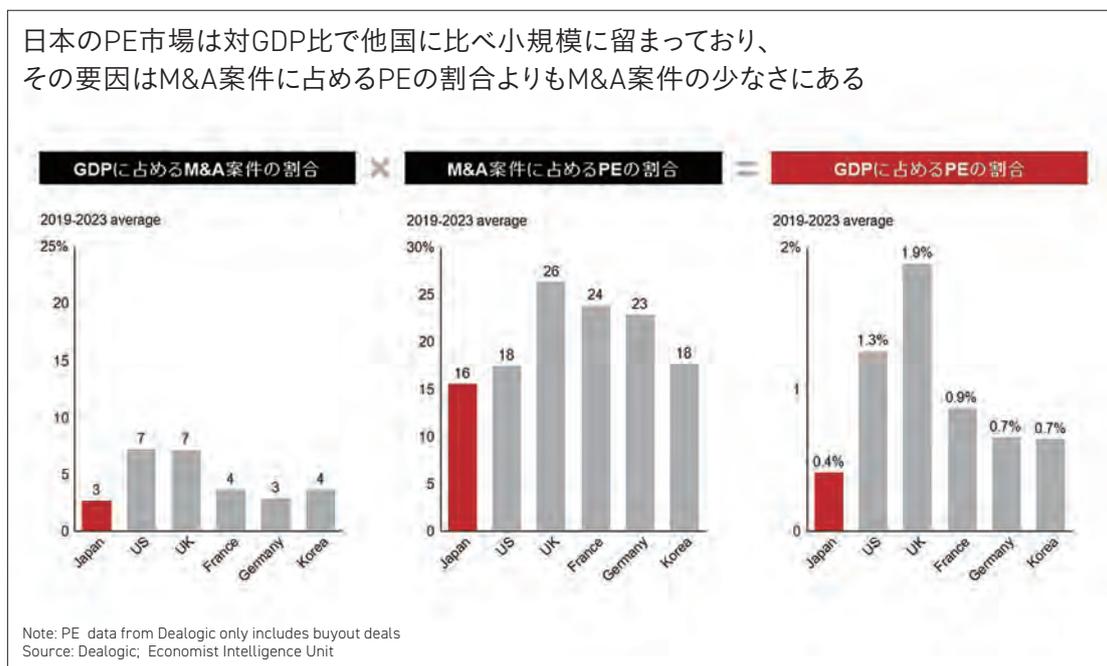


図3：他国と日本のPE市場規模

より多くのM&A案件が行われていることが主な要因である。

## アジア各国の市場と比較した日本市場の特徴

- バイアウトやその他の経営権取得を伴う取引へ傾斜：日本で実施された案件の約80%がバイアウトであるのに対し、アジア太平洋地域の他市場ではその割合は約30%
- 大規模案件が高い割合を占める：日本では10億ドル以上の案件が総額の約65%を占める一方、アジア太平洋地域の他市場では30%

アジア太平洋地域全体のPE市場に占める日本のシェアは小さいものの、大規模なバイアウト案件（2.5億ドル超）においては、日本はアジア太平洋地域で2番目に大きな市場である。日本の

PE市場は、近年の成長実績や今後のさらなる成長余地に加え、日本企業の収益性は比較的低く（改善機会を示唆）、公開市場でのバリュエーションも低いことから（妥当な価格で買収できる機会）、海外の投資家にとって魅力的な市場となっている。しかしながら、日本におけるPE投資のエントリー時のバリュエーションは公開市場ほど低くなく、公開市場のEBITDAマルチプルを大きく上回っている。PEファームは、事業や戦略の変革を通じて投資先企業の価値向上を見込んでいるため、そのような高額なバリュエーションを支払うことが可能である。大規模案件に支払われるマルチプルはより高いことが多く、対象会社が優良企業であることのみならず、大規模案件で典型的に行われる競争的競売プロセスを反映していると考えられる。

## 日本はアジア太平洋地域における大規模PEバイアウト市場の大きな割合をしめる

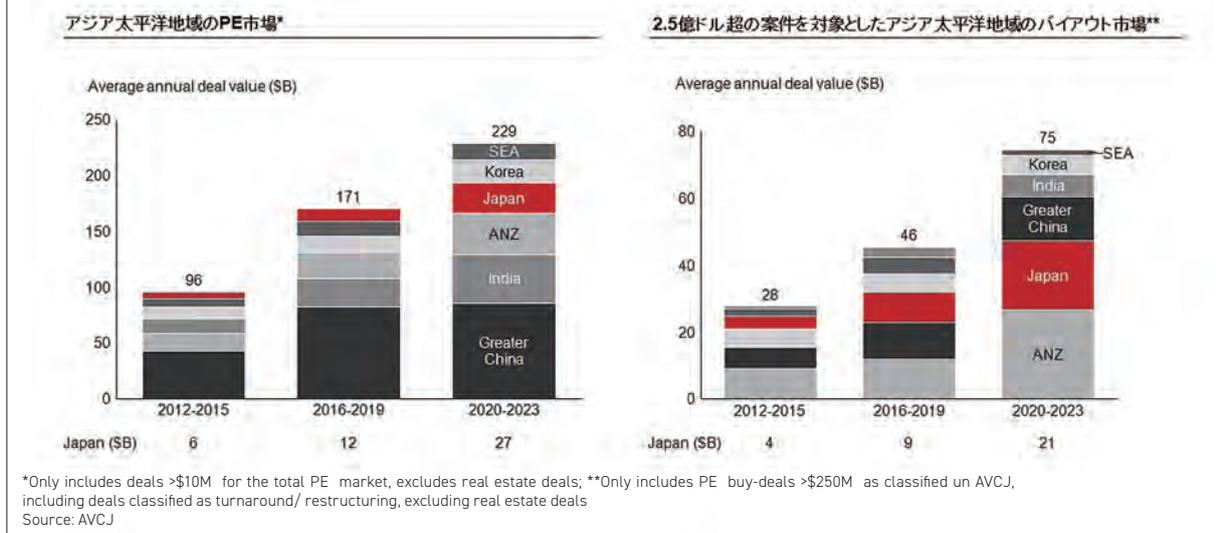


図4：日本とその他アジア太平洋諸国のPE市場における案件額

### 日本のPE市場プレイヤー

日本のPE市場における案件の大半が日本国内に拠点を置くファームによって行われている（国内PEファーム、またはアジア太平洋地域およびグローバルPEファームのいずれも含まれる）。PEファームによる案件規模は、ファンドの規模に比例している場合が多い。資金の少ない国内ファームは、アジアまたはグローバルファームより小規模な案件を実行する傾向が見受けられる。一方で、近年は国内PEファームのファンドサイズが上昇傾向にあり、より大規模な案件に参加する国内ファームも出てきている。

### 保有期間とイグジット

PEファームは最終的に利益を得てイグジットすることにより、ファンドの投資家にリターンをもたらしている。2018-2023年の間にイグジットを完了したPE資産の平均保有期間は約4.5年であるが、2年未満や9-10年以上の保有期間も稀に見受けられる。PEファームがイグジットを実施する場合、その方法は様々である。事業会社への売却、次いでIPOというパターンが多く、少数ではあるがPEファームがセカンダリー案件として別のPEファームに売却する場合もある。

## コーポレート・カーブアウトは重要なPE案件ソース

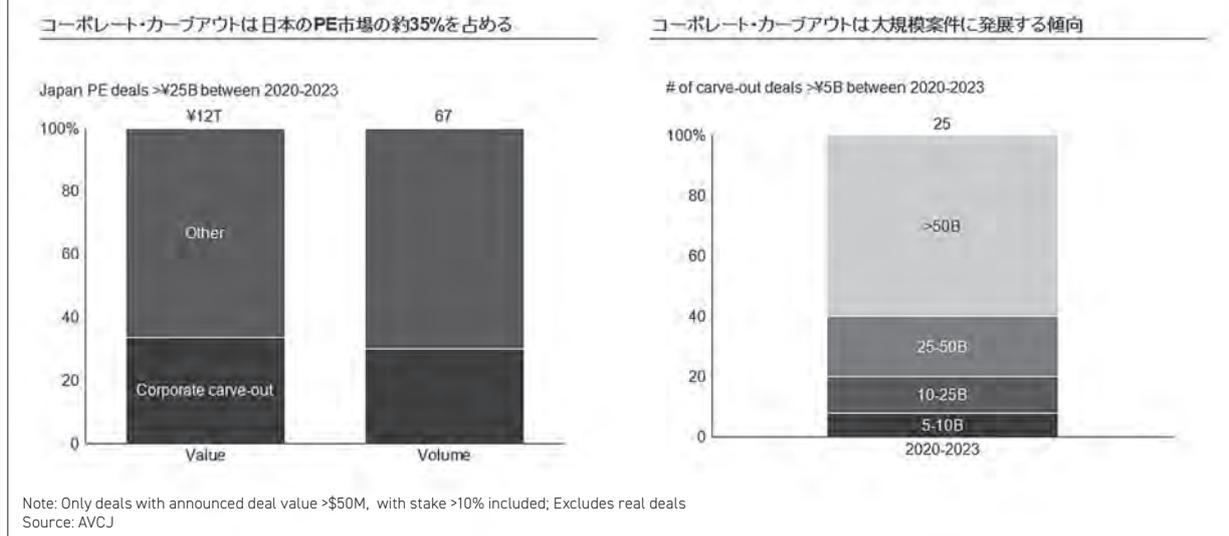


図5：PE案件ソースとしてのコーポレート・カーブアウトの特性

## 案件にみられる主要な傾向

日本のPE市場の台頭から約20年が経過し、PEに関する一般的な理解と受容は大幅に進んだ。結果としてPE案件には主に3つの傾向がみられ、PE市場の勢いは今後も続くものと予想される。

コーポレート・カープアウト（大企業による事業売却）：

ROE（自己資本利益率）を重視する日本政府は、ROEの改善をコーポレートガバナンスを強化することで達成できると考えており、これが大企業による事業売却の後押しとなっている。日本企業はグローバル企業と比べると事業が多角・分散傾向にあるため、全ての事業に十分な資金を投じることが困難となっている。その結果、事業によっては、現在の親会社の一部としてではなく、独立した経営体制に移行したほうがさらなる発展を実現できる可能性がある。

コーポレート・カープアウトは特に大規模案件との関連性が高い。ガバナンスと透明性の継続的改善とともに、事業売却増加の傾向は継続することが見込まれる。

オーナー／創業者による事業承継：

もう一つの重要かつ潜在的な案件の源泉である。企業のオー

ナーや創業者の多くが高齢となり引退年齢に差し掛かっているが、必ずしも適切な後継者がいるとは限らない。そのような場合、PEは経営権をプロフェッショナルな経営陣に移行して事業承継を支援する機会を与えるのみならず、新たな資本を提供することでオーナー／創業者は資産を現金化することが可能となる。多くの企業で社長の高齢化が進んだ結果、70歳以上の社長が25%を超えており、日本には事業継承の大きな機会が存在している。

グロース投資：

通常、後期ステージのスタートアップ企業に対して行われる新規エクイティ投資を指す。スタートアップ企業はこれまで、バリュエーションが数億ドルに達した時（またはそれ以前）にIPOに踏み切っていた。しかし近年では、追加の資金調達ラウンドを実施して2,000万-1億ドルを調達することによりIPOを遅らせる傾向がある。これにより、スタートアップ企業はIPO時のバリュエーションを向上させ、市場に投資家との四半期毎のコミュニケーションに伴う手間を先送りすることができ。日本ではスタートアップ市場が2000年代後半から活発化し、大規模なファンドレイズを行うのに十分な成熟度と事業規模を備えたスタートアップ企業が増えている。

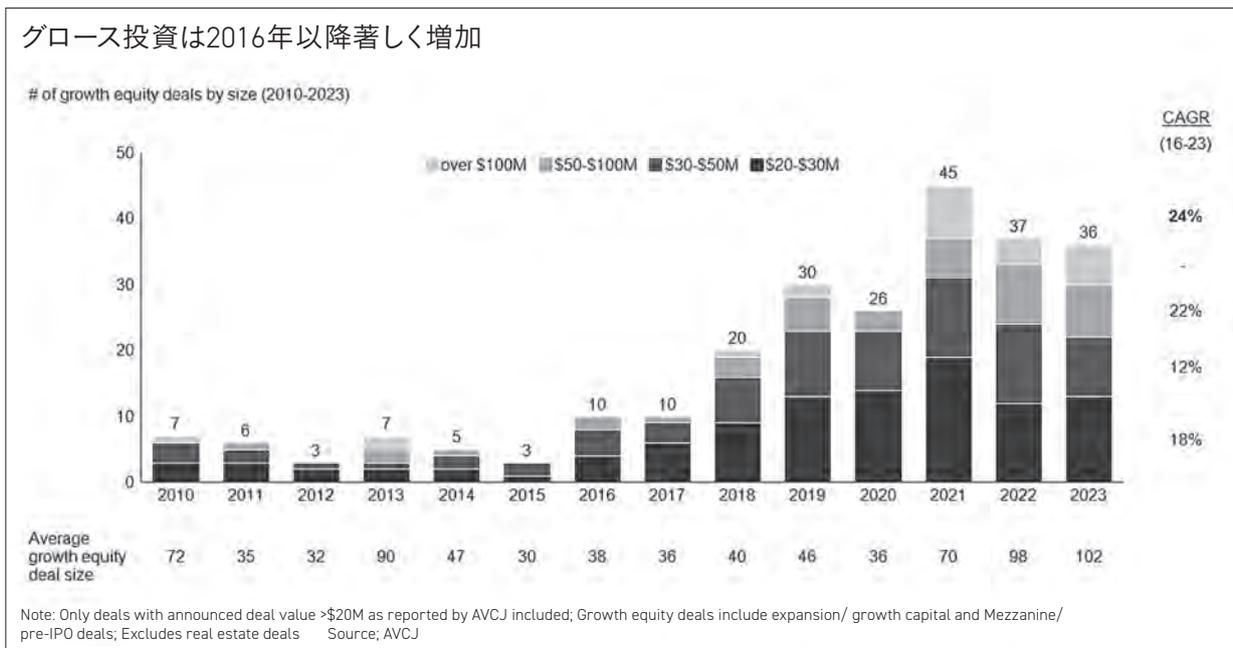


図6：日本のPEにおける後期ステージのグロース投資

本記事はベイン・アンド・カンパニーが作成したものです。  
 詳細につきましては <https://www.bain.com/industry-expertise/private-equity/> をご覧ください。

# 日本におけるプライベート・エクイティのパフォーマンス(2022年)

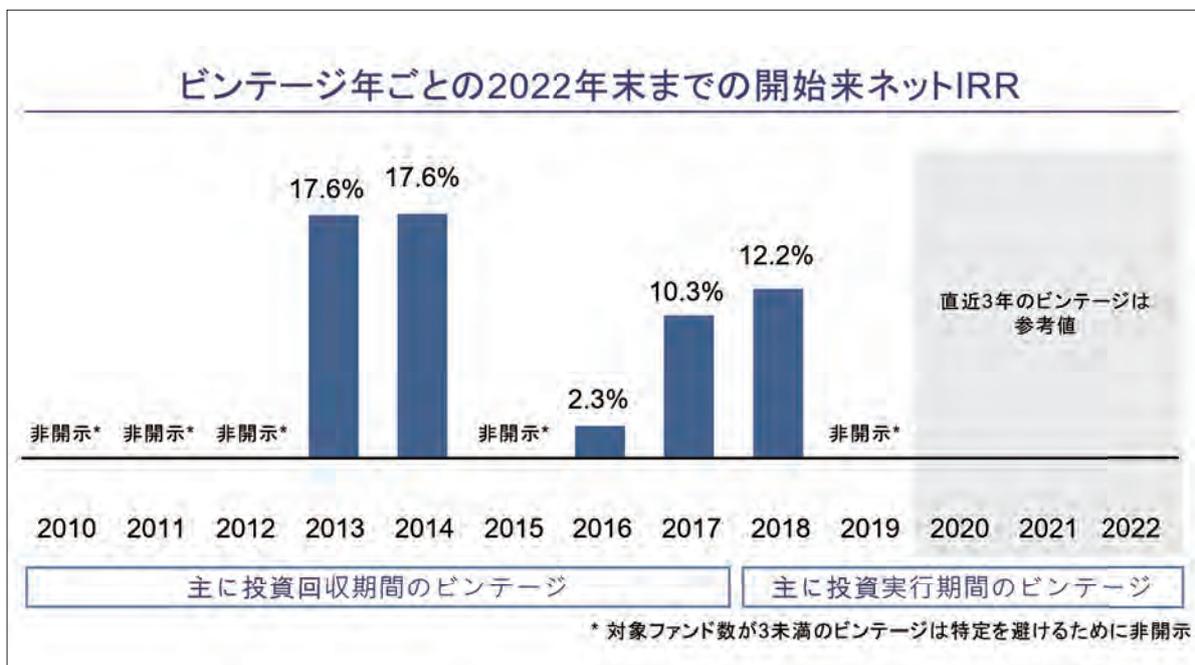
日本プライベート・エクイティ協会では、日本におけるプライベート・エクイティ・ファンドのパフォーマンスの指標を待望する声に応えるため、PwCあたら有限責任監査法人との共同プロジェクトとして2016年からパフォーマンスのデータベースを構築する取り組みを始めております。

2018年から集計結果の公表を開始し、今回の2022年度においては31社、131ファンドがデータ提供に参加しております。

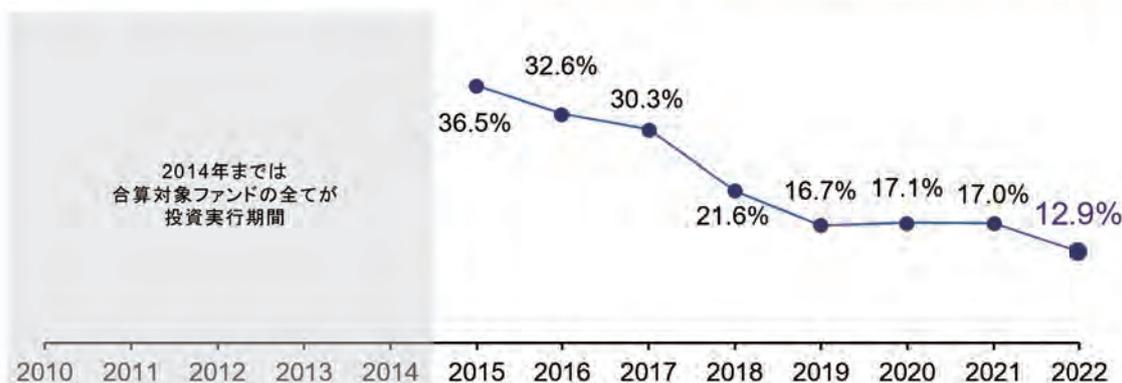
2010～2019年の間に開始されたファンドの2022年末時点ま

での開始来内部収益率 (IRR) は12.9%となり、安定したパフォーマンスを継続的に示しております。また、2022年末時点から遡った5年間 (2018年～2022年)、10年間 (2013年～2022年) の期間別IRRはそれぞれ13.7%、20.8%となっており、同時期の配当込東証株価指数 (TOPIX) の期間投資収益率がそれぞれ3.2%、10.6%であったことから、日本におけるプライベート・エクイティ・ファンドのパフォーマンスは市場収益率を上回っていることも示されています。

【図表1】ファンド開始年別IRR



## 各年末までの開始来ネットIRR推移 (2010-19年ビンテージ・ファンドの合算)



【図表2】ファンド開始年別ネット投資倍率

	グルーピング	調査対象ファンド本数	2022年末のネット投資倍率
ベン テ ー ジ 年	v. 2009年以前 計	43	1.48
	v. 2010年	1	非開示
	v. 2011年	4	1.91
	v. 2012年	4	1.55
	v. 2013年	8	1.91
	v. 2014年	6	1.38
	v. 2015年	3	1.90
	v. 2016年	9	1.08
	v. 2017年	12	2.05
	v. 2018年	10	1.40
	v. 2019年	2	非開示
	v. 2010-19年 計	59	1.56
	v. 2019年以前 計	102	1.53
	(参考) v. 2020年	7	1.32
	(参考) v. 2021年	13	1.15
	(参考) v. 2022年	9	0.99

※採取データが2社以下で構成される各項目は非開示しております。

本調査の手法、参加会社、留意事項などの詳細については、  
レポートをダウンロードの上ご覧ください。

レポート：<https://jpea.group/2024/03/11/private-equity-performance-6/>

当協会では、今後とも継続的なデータ収集と集計母数の拡大

を図り、公的年金や機関投資家の皆様がプライベート・エクイティに投資資金を振り向けやすくなる環境づくりを行います。日本のプライベート・エクイティ・ファンドへの投資が拡大し、プライベート・エクイティが一つのアセットクラスとして日本においてさらに認知されることを目指して参ります。認知されることを目指して参ります。

【参加会員】アイ・シグマ・キャピタル株式会社／株式会社アドバンテッジパートナーズ／アント・キャピタル・パートナーズ株式会社／いわかせキャピタル株式会社／株式会社SMBCキャピタル・パートナーズ／MCPキャピタル株式会社／MBKパートナーズ株式会社／エンデバー・ユナイテッド株式会社／カーライル・ジャパン・エルエルシー／株式会社刈田・アンド・カンパニー／キャス・キャピタル株式会社／CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社／株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ／J-STAR株式会社／ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社／ティーキャピタルパートナーズ株式会社／D Capital株式会社／トラスター・キャピタル・パートナーズ・ジャパン・リミテッド／ニューホライズンキャピタル株式会社／野村キャピタル・パートナーズ株式会社／PAG／平安ジャパン・インベストメント株式会社／株式会社福岡キャピタルパートナーズ／ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社／ボラリス・キャピタル・グループ株式会社／株式会社マーキュリアインベストメント／株式会社丸の内キャピタル／雄渾キャピタル・パートナーズ株式会社／ユニゾン・キャピタル株式会社／ライジング・ジャパン・エクイティ株式会社／株式会社ロングリーチグループ（計31社50音順）

# 正会員ファンドによる公表案件一覧 (2023年7月～2024年6月)

公開日時/正会員名	タイトル
2023/7/3 エンデバー・ユナイテッド株式会社	ウスイホームホールディングス株式会社におけるサステナビリティリンク・ローンの実行に関するお知らせ
2023/7/3 株式会社ブルバス・キャピタル	株式会社サズとの資本業務提携に関するお知らせ
2023/7/5 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	製造業サプライチェーンの変革に挑むキャディ株式会社への追加出資を行う
2023/7/6 株式会社ブルバス・キャピタル	株式会社野口医学研究所との資本業務提携に関するお知らせ
2023/7/7 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	AIを活用した遠隔操作ロボットの開発及び事業展開を行うTelexistence株式会社に出資
2023/7/12 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	機部織工株式会社の株式譲渡のお知らせ
2023/7/12 J-STAR株式会社	株式会社アルファコーポレーションの株式譲渡について
2023/7/21 株式会社アドバンテッジパートナーズ	上場前資本政策として投資したナレルグループがIPOを実現
2023/7/24 アスバラントグループ株式会社	株式会社ヤマトの株式譲渡に係る契約締結のお知らせ
2023/7/25 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	山芳製菓株式会社との資本業務提携のお知らせ
2023/7/28 アスバラントグループ株式会社	長崎運送株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2023/7/31 株式会社ロングリーチグループ	ロングリーチグループQuasar Medical社の全株式譲渡に関するお知らせ
2023/8/8 エンデバー・ユナイテッド株式会社	ジャパン・イーエム・ソリューションズ株式会社の事業譲受に関するお知らせ
2023/8/9 J-STAR株式会社	焼津水産化学工業株式会社に対する公開買付けについて
2023/8/10 株式会社ルネサンスによる株式会社東急スポーツオアシスの株式追加取得 アドバンテッジアドバイザーズ株式会社	株式会社ルネサンスによる株式会社東急スポーツオアシスの株式追加取得(連結子会社化)に関するお知らせ
2023/8/14 ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社	日本精糖株式会社への新株予約権付資本性劣後ローン融資のお知らせ
2023/8/17 ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC	株式会社T&K TOKA(証券コード:4636)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ
2023/8/17 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	民間版の世界銀行を目指す五常・アンド・カンパニーに出資
2023/8/21 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	株式会社ユニメイトの株式譲渡に関するお知らせ
2023/8/21 株式会社刈田・アンド・カンパニー	株式会社ユニメイトの株式譲渡に関するお知らせ
2023/8/29 アイ・シグマ・キャピタル株式会社	株式会社ショクカイの株式譲渡に関するお知らせ
2023/8/29 株式会社海外需要開拓支援機構	株式会社ラフ&ピースマザーの株式譲渡について
2023/8/30 Trustar Capital Partners Japan Limited	株式会社モリテックスの譲渡に関して
2023/8/31 株式会社ロングリーチグループ	株式会社nobitelの株式取得について
2023/8/31 CLSAキャピタルパートナーズジャパン	株式会社けんせつパークへの資本参加について
2023/8/31 株式会社ブルバス・キャピタル	高六商事株式会社、タカブラサイクル株式会社との資本業務提携に関するお知らせ
2023/9/1 ニューホライズンキャピタル株式会社	日本システムケア株式会社と株式会社ビー・テックとの資本業務提携について
2023/9/1 カーライル・ジャパン・エルエルシー	星光PMC株式会社(証券コード:4963)の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2023/9/1 日本みらいキャピタル	日本アドバンスロール株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2023/9/4 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	アイ・ディ・ケイ株式会社の株式取得について
2023/9/4 ベシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社YMITホールディングスの株式譲受に関するお知らせ
2023/9/8 株式会社アドバンテッジパートナーズ	株式会社WDホールディングスの株式譲渡に関するお知らせ
2023/9/8 J-STAR株式会社	株式会社トイファクトリーと有限会社ビーズと資本業務提携について
2023/9/11 株式会社海外需要開拓支援機構	日本のローカルEC商品の海外展開を促進させる海外転送・代理購入プラットフォーム企業Buyandshipへ出資
2023/9/12 Lキャタルン・ジャパン合同会社	動物病院グループWithmalへの資本参画について
2023/9/12 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	株式会社ライズ・コンサルティング・グループの新規上場に関するお知らせ
2023/9/14 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	HR SaaSの共創プラットフォーム「PathosLogos」を開発・提供するパストロコスに出資...
2023/9/14 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社ハートフルステージの株式取得に関するお知らせ
2023/9/20 エンデバー・ユナイテッド株式会社	サンライズ株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2023/9/25 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社クレファクトの株式譲渡に関するお知らせ
2023/9/27 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	農業流通現場のDXを実現する「kikitoni」に出資
2023/9/29 J-STAR株式会社	J-CEP株式会社の株式譲渡について
2023/9/29 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社タカフジによる株式会社マテリアルデポットへの投資実行について
2023/9/29 株式会社ロングリーチグループ	J-CEP株式会社の株式取得の完了に関するお知らせ
2023/9/29 株式会社ロングリーチグループ	ジャパンシステム株式会社及び株式会社Blueshipに対する米国ServiceNow
2023/9/29 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社グラムスタイルとの資本業務提携について

公開日時/正会員名	タイトル
2023/10/6 ニューホライズンキャピタル株式会社	リードプラス株式会社の株式譲渡について
2023/10/6 ティーキャピタルパートナーズ株式会社	リコーインダストリアルソリューションズ株式会社のオプティカル事業に関する株式譲渡契約の締結について
2023/10/10 ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社	日本ケミコン株式会社の種類株式取得のお知らせ
2023/10/13 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	ソフトブレン株式会社のグループ会社の異動に関するお知らせ
2023/10/18 株式会社アドバンテッジパートナーズ	ツバキ・ナカシマの「Best in Class」なものづくり企業への変革をAA成長支援ファンドが支援
2023/10/18 カーライル・ジャパン・エルエルシー	星光PMC株式会社(証券コード:4963)の普通株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2023/10/19 Trustar Capital Partners Japan Limited	株式会社モリテックスの譲渡に関して
2023/10/25 AZ-Star株式会社	全保連株式会社の東京証券取引所スタンダード市場への新規上場について
2023/10/31 ティーキャピタルパートナーズ株式会社	コンフェックスホールディングス株式会社の株式譲渡契約締結について
2023/10/31 アイ・シグマ・キャピタル株式会社	ミニター株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2023/11/1 エンデバー・ユナイテッド株式会社	今田建設ホールディングス株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2023/11/2 キャス・キャピタル株式会社	2023年11月2日付でコスモ電材株式会社の株式を取得いたしました
2023/11/6 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社東日本技術研究所の株式譲渡のお知らせ
2023/11/7 株式会社アドバンテッジパートナーズ	アサンテの「営業力・技術力+企画力による飛躍的な成長」に向けて、AA成長支援ファンドが支援
2023/11/8 キャス・キャピタル株式会社	アジアを代表する動物病院グループの形成に向け取り組み(第4弾)株式会社ANCHORS(旧OCH7株式会社)による株式会社木俣動物病院の株式取得に関するお知らせ
2023/11/10 カーライル・ジャパン・エルエルシー	カーライル・国際航空株式会社の株式譲渡契約締結に関するお知らせ
2023/11/10 EQTパートナーズジャパン株式会社	BPEA EQT to commence Tender Offer to privatize Benesse Holdings
2023/11/10 アスバラントグループ株式会社	ファーマライズホールディングス株式会社の株式譲渡に関するお知らせ
2023/11/14 J-STAR株式会社	株式会社シニアライフクワイエットへのMBO支援について
2023/11/20 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社ムーンスターの株式譲渡のお知らせ
2023/11/21 株式会社海外需要開拓支援機構	株式会社Tokyo Otaku Modeの株式譲渡について
2023/11/22 アスバラントグループ株式会社	大和紡績株式会社の株式譲受けに関するお知らせ
2023/11/27 EQTパートナーズジャパン株式会社	BPEA EQT Mid-Market Growth to acquire a majority stake in HRBrain
2023/11/29 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社ナレッジワークへの追加出資を行う
2023/12/1 日本みらいキャピタル株式会社	ソニテック株式会社への投資に関するお知らせ
2023/12/1 株式会社アドバンテッジパートナーズ	ウォッチニアグループ、クォークとの経営統合により世界有数の腕時計リユースグループへ
2023/12/1 アスバラントグループ株式会社	フレクス株式会社の株式譲渡のお知らせ
2023/12/6 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	物流DXを推進するアSEND社に出資
2023/12/12 ベインキャピタル・日本風力開発の全株式を所有するJWDホールディングス3の株式譲渡でインフラ・ホールディングス株式会社と合意	ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン・LLC
2023/12/12 アスバラントグループ株式会社	アウトロックコンサルティング株式会社の新規上場に関するお知らせ
2023/12/12 J-STAR株式会社	株式会社ダイニチによる株式会社マルセイ水産への出資について
2023/12/15 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	ポラリス第五号投資事業有限責任組合等及びその他株主からCVCキャピタル・パートナーズ・アジア・ファンドへの総合メディカルグループ株式会社の100%株式譲渡について
2023/12/15 シーグーシー・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社	CVC Asia V acquires 100% of Sogo Medical Group Co.
2023/12/19 JICキャピタル株式会社	JICC-02株式会社によるJSR株式会社(証券コード:4185)に対する公開買付け実施に向けた進捗状況のお知らせ
2023/12/20 MCPキャピタル株式会社	株式会社SARAホールディングスへの資本参画に関するお知らせ
2023/12/21 株式会社ひろしまイノベーション推進機構	株式会社ミルテルの株式譲渡について
2023/12/22 株式会社丸の内キャピタル	株式会社TOSEIに係る株式譲渡契約締結のお知らせ
2023/12/25 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	HITOWAホールディングス株式会社の株式譲渡について
2023/12/25 日本みらいキャピタル株式会社	株式会社ホタルスの株式譲渡に関するお知らせ
2023/12/26 Trustar Capital Partners Japan Limited	兼子グループとの資本業務提携に関して
2023/12/27 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	株式会社オーネットにおける戦略的資本・業務提携について
2023/12/27 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	株式会社ディアーズ・ブレインホールディングスの株式譲渡に関するお知らせ
2023/12/28 ティーキャピタルパートナーズ株式会社	コンフェックスホールディングス株式会社の株式譲渡について
2024/1/4 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社NESの株式譲渡に関するお知らせ
2024/1/10 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	ひらぎホールディングス株式会社への資本参加について

公開日時/正会員名	タイトル
2024/1/11 株式会社ひろしまイノベーション推進機構	株式会社ファイン・株式会社リンクスとの資本提携について
2024/1/12 株式会社ひろしまイノベーション推進機構	株式会社クリスタルプロセスとの資本提携について
2024/1/19 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	キルフェボン株式会社への資本参加について
2024/1/19 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	株式会社ビー・フォードへの資本参加について
2024/1/26 株式会社丸の内キャピタル	株式会社三浦屋に係る株式譲渡契約締結のお知らせ
2024/1/31 Trustar Capital Partners Japan Limited	MARK STYLER株式会社の株式譲渡に関して
2024/2/1 エンデバー・ユナイテッド株式会社	JAS株式会社のMBOによる株式譲渡に関するお知らせ
2024/2/1 株式会社福岡キャピタルパートナーズ	トップ卵株式会社の株式譲渡について
2024/2/2 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社大期及びユメテック株式会社に投資実行
2024/2/7 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	自由診療クリニック向けオールインワンSaaS「medicalforce」メディカルフォース社へ出資
2024/2/8 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	ウェルビー株式会社に対する公開買付けについて
2024/2/9 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社フードプラス・ホールディングスに共同投資を実行
2024/2/9 キャス・キャピタル株式会社	株式会社フードプラス・ホールディングスの保有株式をニューホライズンキャピタル株式会社が管理・運用するファンドへ譲渡いたしました。
2024/2/14 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社シンワパネスの株式譲渡に関するお知らせ
2024/2/16 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	ライドシェアサービスの運営等を行うnewmo社に出資
2024/2/16 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社交通電業社の株式譲渡契約締結のお知らせ
2024/2/29 ティーキャピタルパートナーズ株式会社	株式会社ワールドパーティーへの投資について
2024/2/29 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	株式会社ワールドパーティーの株式譲渡に関するお知らせ
2024/2/29 株式会社アドバンテッジパートナーズ	Premier Centre Group Sdn. Bhd.の株式譲渡に関するお知らせ
2024/3/1 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社ウィルミナの株式譲渡
2024/3/1 株式会社アドバンテッジパートナーズ	日本銘菓総本舗の発展的継承について
2024/3/1 株式会社海外需要開拓支援機構	ワンダープラネット株式会社の株式売却について
2024/3/1 ニューホライズンキャピタル株式会社	ポストコロナリカバリー投資事業有限責任組合が株式会社ハンパティエーダンパティエーグループの一部事業承継
2024/3/1 アスバラントグループ株式会社	株式会社城南製鋼所の株式譲渡に関するお知らせ
2024/3/1 J-STAR株式会社	株式会社ケアギバー・ジャパンへの資本参加について
2024/3/4 株式会社アルバス・キャピタル	株式会社シー・アイ・エム総合研究所の株式譲渡のお知らせ
2024/3/11 MCPキャピタル株式会社	丸友開発株式会社の株式譲受に関するお知らせ
2024/3/13 キャス・キャピタル株式会社	株式会社寿精密の株式取得に関するお知らせ
2024/3/14 CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社	株式会社Lcodeの株式譲渡に関するお知らせ
2024/3/15 いわかぜキャピタル株式会社	株式会社横浜ロジシステムズとの資本提携に関するお知らせ
2024/3/18 JICキャピタル株式会社	JICC-02株式会社によるJSR株式会社(証券コード:4185)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2024/3/19 株式会社アドバンテッジパートナーズ	「きのご総合企業・ホクトのグローバル展開に向けた挑戦をAA成長支援ファンドが支援
2024/3/27 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	ウェルビー株式会社株券等(証券コード:6556)に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2024/3/29 株式会社アドバンテッジパートナーズ	APファンド投資先からコロナ禍以降4社目のIPOをマテリアルグループが実現
2024/3/29 株式会社PROSPER	PROSPER日本企業成長支援ファンド第一号投資事業有限責任組合の投資2号案件実行について
2024/3/29 株式会社海外需要開拓支援機構	寧波開発株式会社の株式譲渡について
2024/3/29 Apollo Management Japan Limited	Apollo Funds Announce Strategic Partnership with Panasonic Automotive Systems
2024/4/1 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社中條工務店の株式譲渡に関するお知らせ
2024/4/1 J-STAR株式会社	ジャパンウェイト株式会社に関する、株式交換の完了について
2024/4/5 株式会社海外需要開拓支援機構	KCA Japan株式会社の株式譲渡について
2024/4/11 ベーシック・キャピタル・マネジメント	敬洋国際物流株式会社の株式譲受に関するお知らせ
2024/4/16 株式会社海外需要開拓支援機構	アジア全域のモバイルデータを活用し日本のモノ・サービスの販売を促進するデジタル・マーケティングを展開するVponに対する追加支援について
2024/4/16 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	2.5次元IPのプロデュースを展開する株式会社ウタイテに出資
2024/4/17 JICキャピタル株式会社	JICC-02株式会社によるJSR株式会社(証券コード:4185)に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
2024/4/26 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	UPPGO株式会社及び株式会社イーナ(Web広告代理店事業)の株式譲渡のお知らせ
2024/4/26 株式会社ブルバス・キャピタル	八百屋端花株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

公開日時/正会員名	タイトル
2024/4/26 株式会社ひろしまイノベーション推進機構	株式会社ツールセルへの追加投資について
2024/4/30 丸の内キャピタル	東亜トレーディング株式会社との資本業務提携に関するお知らせ
2024/5/1 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	SOMPOオックス株式会社との提携のお知らせ
2024/5/7 ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社	株式会社ビー・アイテックホールディングスの株式譲受に関するお知らせ
2024/5/10 ユニゾン・キャピタル株式会社	ミナシアの株式譲渡契約締結
2024/5/10 アイ・シグマ・キャピタル株式会社	ジャンプフーズ株式会社株式(証券コード:2599)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2024/5/13 株式会社丸の内キャピタル	日本結晶光学株式会社株式取得に関するお知らせ
2024/5/14 株式会社ロングリーチグループ	新日本住設株式会社株式取得について
2024/5/14 キャス・キャピタル株式会社	アジアを代表する動物病院グループの形成に向け取り組み(第5弾)株式会社ANCHORS (IBCH7b株式会社)による株式会社ノースベッツの株式取得に関するお知らせ
2024/5/15 株式会社アドバンテッジパートナーズ	和食系レストランチェーンのリーディングカンパニー:SRSホールディングスが目指す「食の社会的インフラ」発展をAA成長支援ファンドが支援
2024/5/20 カーライル・ジャパン	日本KFCホールディングス株式会社(証券コード:9873)の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2024/5/21 大和PIキャピタル株式会社	ドリームカプセル株式会社の株式譲受けについて
2024/5/27 サンライズキャピタル株式会社	新教育総合研究会株式会社への資本参加について
2024/5/27 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	オリンパス株式会社等が整形外科事業の譲受について
2024/5/27 ニューホライズンキャピタル株式会社	理光フロンテックテクノロジーの事業承継を完遂
2024/5/28 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社アミノの株式譲渡契約締結のお知らせ
2024/5/28 D Capital株式会社	カバヤ食品株式会社への資本参加に関するお知らせ
2024/5/31 株式会社海外需要開拓支援機構	株式会社IMCFの株式譲渡について
2024/5/31 農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任を通じて、自動車・モビリティファイナンスのDXに取り組むDRD4株式会社へ出資いたしましたのでお知らせいたします。	
2024/6/3 J-STAR株式会社	株式会社ケアギバー・ジャパンによる事業譲受について
2024/6/3 株式会社丸の内キャピタル株式会社	永谷園ホールディングス(証券コード:2899)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
2024/6/6 カーライル・ジャパン・エルエルシー	カーライル、株式会社トキワ・コスメティクス・グループの株式譲渡契約締結に関するお知らせ
2024/6/7 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社リアンファの株式譲受のお知らせ
2024/6/7 ユニゾン・キャピタル株式会社	くめしの株式取得
2024/6/7 株式会社アドバンテッジパートナーズ	「Creativity × Tech」の強みを有するエイチームが目指す「売上向上支援カンパニー」への発展をAAが支援
2024/6/10 ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社	東京東フィグランド株式会社の株式譲受に関するお知らせ
2024/6/13 農林中金キャピタル株式会社	農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任組合を通じて、オンライン×対面の総合精神医療プラットフォームを提供するアトラスヘルス株式会社へ出資いたしましたのでお知らせいたします。
2024/6/14 ティーキャピタルパートナーズ株式会社	旭ハウス工業株式会社の株式譲渡について
2024/6/20 Trustar Capital Partners Japan Limited	株式会社タウンズの東京証券取引所スタンダード市場への上場に関するお知らせ
2024/6/20 J-STAR株式会社	株式会社WOLVES HANDの上場について
2024/6/21 グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	MFS社が東京証券取引所グロス市場へ上場(証券コード196A)
2024/6/21 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	株式会社パルレーゼの株式譲渡について
2024/6/26 MCPキャピタル株式会社	株式会社フジサンホールディングスとの資本業務提携に関するお知らせ
2024/6/27 J-STAR株式会社	株式会社Jステップホールディングスの設立及び資本参加について
2024/6/27 ニューホライズンキャピタル株式会社	株式会社ダイイチ機設工業に投資実行
2024/6/28 エンデバー・ユナイテッド株式会社	富士工業株式会社の株式取得に関するお知らせ
2024/6/28 エンデバー・ユナイテッド株式会社	株式会社ロコスホールディングスの新規上場に関するお知らせ

※本情報は正会員各社の発表を元にしてます。公表案件についてのお問い合わせは、正会員各社に直接お願いいたします。

## 委員長挨拶

ナレッジシェアリング委員会の委員長を拝命して1年が経過しました。勉強会では、投資先のバリューアップの事例や重要性が高まっているESGへの対応等、実務的な内容も織り交ぜながら、多岐にわたるテーマを取り上げております。また、この1年は上場企業の経営者の方を講師としてお招きする機会も増えました。ルネサスエレクトロニクス柴田社長、ロイヤルホールディングス菊池会長にご講演いただきましたが、参加者も多く、大変盛況な勉強会となりました。勉強会の頻度も月1～2回開催と徐々に増やしておりますが、今後も、参加者の皆さまに価値を感じていただけるような勉強会を企画していきたいと思っております。ぜひ積極的にご参加ください！

福崎 昇平

株式会社丸の内キャピタル 取締役CIO



## メンバー紹介

委員長	福崎 昇平	株式会社丸の内キャピタル 取締役CIO
委員	岡 俊子	株式会社岡&カンパニー 代表取締役
	松本 展明	キャス・キャピタル株式会社 取締役パートナー
	長谷川 俊郎	ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー・チーフフィナンシャルオフィサー

## 会員勉強会 年別アーカイブ

当協会ホームページでは過去の会員勉強会をアーカイブでまとめています。会員ログインすることで、資料や動画を閲覧することができる勉強会もあります。

(<https://jpea.group/category/event-study/>)

### ●各勉強会の内容紹介

内容

ファンドファイナンス ～サブスクリプションファシリティから高度な資金調達手法への発展～

ダウンロード資料あり 動画視聴可能

開催日: 2024年6月21日

講師

株式会社三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクツ部 Director 嶋田 悠一様

会員勉強会

協会正会員の皆様に向けて、様々な分野での勉強会を開催し、プライベート・エクイティに関する知識を高めていただく機会を提供しております。具体的な勉強会の内容としては、(1) 投資先のバリューアップ事例、(2) 法律・規制などの専門的な領域、(3) リスク管理・ファンド運営全体の仕組み等です。

最新の会員勉強会の内容は以下の通りです。  
下記以前の勉強会については、右側または下部の「年別アーカイブ」をご覧ください。

年別アーカイブ

- 2024年 >
- 2023年 >
- 2022年 >
- 2021年 >
- 2020年 >
- 2019年 >
- 2018年 >
- 2017年 >
- 2016年 >
- 2014年 >

検索: \_\_\_\_\_ Q

## ナレッジシェアリング委員会の紹介

日本プライベート・エクイティ協会会員の皆様に様々な分野での勉強会を開催して、プライベート・エクイティに関する知識を高めていただく機会を提供する役割を担っております。具体的な勉強

会の内容としては、(1)投資先のバリューアップ事例、(2)法律・財務会計・税務などの専門的な領域、(3)経営全般に関わるノウハウ、(4)リスク管理・ファンド運営全体の仕組み作り等です。

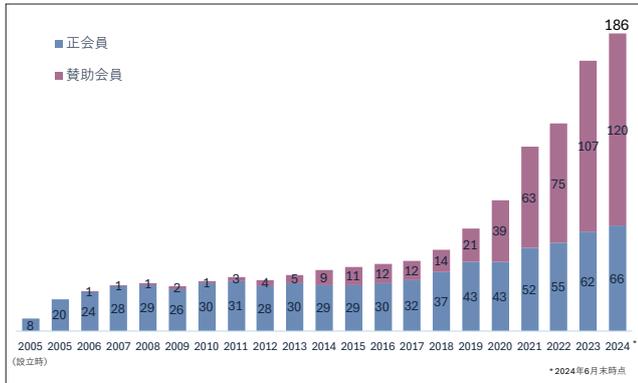
### ■ 勉強会 (2023年7月～2024年6月開催)

開催日	内容	講師 (敬称略)
2024/6/21 (金)	ファンドファイナンス ～サブスクリプションファシリティから高度な資金調達手法への発展～	株式会社三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクツ部 Director 嶋田 悠一
2024/5/29 (水)	ESG系アドバイザーによる合同勉強会:PE投資における排出量測定などの実務紹介	講演者:株式会社RIMM Japan 取締役会長 山下 雅史 イー・アール・エム日本株式会社 パートナー 安部 裕一 一般社団法人CDP Worldwide-Japan 代表理事 田村 晃一、 理事 ジェネラルマネジャー 菱沼 敬介、シニアアソシエイト キャ ピタルマーケッツ 寺嶋 愛美 総合司会:株式会社日本産業推進機構 PE協会ESG委員 松田 清美
2024/5/22 (水)	外食産業の課題とこれからの経営	ロイヤルホールディングス株式会社 代表取締役会長 京都大学経営管理大学院 客員教授 菊地 唯夫
2024/5/13 (月)	ESG委員会および会員拡大・交流委員会推奨:FITチャリティ・ラン2024の説明・参加募集	三井住友銀行 プライベートバンキング企画部 部長 FITチャリティ・ラン アドバイザー シェーファー・平 ダーヴィッド
2024/4/24 (水)	ESGデータ標準化(EDCI)とGHG排出量把握実務	株式会社ゆうちょ銀行 常務執行役員 プライベートエクイティ投資部長 貞永 英哉 Carlyle Japan Equity Management LLC マネージング ディレクター・パートナー 三井 麻紀 ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 ディレクター 原田 佳実 ユニゾン・キャピタル株式会社 パートナー 片柳 淳子 株式会社日本産業推進機構 ファイナンスディレクター 松田 清美
2024/4/16 (火)	ファンドサイクルにおける「Mercer × Marsh」のサービス紹介 ～People & Businessリスクのマネジメントを通じたポートフォリオのバリューアップ～	マーサージャパン株式会社 M&Aアドバイザーサービス部門代表 Principal 柴山 典央 M&Aアドバイザーサービス部門 Vice President 犬塚 雅人
2024/3/27 (水)	国内外プライベートエクイティ市場と機関投資家の動向	Preqin Research Insights VP Head of APAC & Valuations アンジェラ・ライ
2024/2/22 (木)	「最新の生成AI潮流とビジネス活用」	株式会社電通デジタル マネージャー / 生成Aラボ長 有益 伸一
2024/1/24 (水)	外国為替相場の展望	株式会社三菱UFJ銀行 チーフアナリスト 井野 鉄兵
2024/1/18 (木)	価格戦略の必勝法—価格戦略により利益を拡大するための3つの提言	サイモン・クチャーアンドパートナーズ パートナー 取締役 山城 和人
2023/12/18 (月)	Financial sponsorの果たすべき役割	ルネサスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長兼CEO 柴田 英利
2023/11/28 (火)	Growth Capital投資におけるBuyout投資のエクスパティエーズの活用方法	カーライル・ジャパン・エルエルシー マネージング ディレクター 渡辺 雄介
2023/11/21 (火)	インテグラル株式会社の上場について	野村證券株式会社 執行役員 新田 圭、 コーポレート・ファイナンス七部長 宮崎 大輔、同次長 石井 洋佑
2023/10/18 (水)	東証グロース市場を取り巻く投資環境について	アセットマネジメントOne株式会社 ファンドマネジャー 岩谷 渉平
2023/9/19 (火)	ベーシック・キャピタル・マネジメントによる企業価値向上策 ～JPEAアワード「大企業を離れて立派に成長しましたで賞」を受賞したWorkVisionへの取り組みから	ベーシック・キャピタル・マネジメント株式会社 ヴ ァイスプレジデント 宮田 知明
2023/8/30 (水)	プライベート・エクイティにおけるESGについて	日本PE協会ESG委員会メンバー PRIジャパンネットワーク諮問委員会メンバー パートナーズ・グループ・ジャパン株式会社 棚橋 俊介 Principles of Responsible Investment(PRI)Head of Japan 湯澤 達朗
2023/7/26 (水)	サステナブルビジネスの最新動向について	三菱UFJ銀行サステナブルビジネス部 調査役 門屋 翼、丁 銀宣

# [会員拡大・交流委員会の紹介]

国内で活躍されているGPには正会員として、プライベート・エクイティ業界をご支援頂いている皆様には賛助会員として、当協会に加盟して頂くことを促進し、積極的な情報交換を行う場を設けることで日本プライベート・エクイティ業界の更なる発展に繋がることを目的として活動しています。

## ■ 会員数推移



## ■ 活動内容

### ● 若手交流会

正会員・賛助会員の中堅・若手メンバーを対象に、情報交換や問題意識の討議の場としての懇親会を年2回開催。100名を超える参加者が一同に会し、協会役員を含めた活発な交流を行っています

### ● 正会員交流会

正会員のトップ層が7つのグループに分かれて、相互理解の促進と業界課題の討議を行う懇親会形式での交流会を本年4月に初めて実施。交流会を通じて寄せられた意見は、今後の協会運営に反映するべく理事会で検討を行います

### ● 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会との共同勉強会



プライベート・エクイティによるグロース企業への投資事例をテーマとして、投資先のCFOをお招きし、両協会の理事クラスが参加してパネル形式での討論会を初めて実施。両協会間の一層の協働促進に向けて2回目以降も検討予定

### ● ゴルフコンペ

新型コロナにより中断していたゴルフコンペを2023年より再開。正会員及び賛助会員の有志がリラックスした雰囲気の中で交流を深めております

### ● 正会員アンケート

業界動向の定点観測として年1回正会員へのアンケートを実施。結果は年次総会のレセプションで発表するほか、ニュースレター及びホームページ上でも公表しております

## ■ メンバー紹介

委員長 三村 智彦

エンデバー・ユナイテッド株式会社  
代表取締役

委員 加笠 研一郎

MBKパートナーズ株式会社 共同代表取締役/  
パートナー

梅津 直人

D Capital株式会社 共同代表/パートナー

高橋 真一

ローン・スター・ジャパン・アクイジションズ/  
マネージングディレクター

## ■ 委員長挨拶

会員・拡大交流委員長を拝命しておりますエンデバー・ユナイテッドの三村です。正会員・賛助会員の皆様におかれましては、当委員会の趣旨にご理解を賜り、各種イベントに積極的にご参加頂き、誠に有難うございます。日本におけるプライベート・エクイティの活動は年々活発になっており、当協会の会員数も急拡大しております。これらのプライベート・エクイティ業界に携わる皆様が、協会活動を通じて相互理解を深め、切磋琢磨しながら共通の課題に対処していくことが、業界全体の発展に寄与するものと当委員会では考えております。これからも皆様のご意見を反映し、より良い会員交流及び活動機会を提供して参ります。ぜひ積極的に協会活動にご参加頂ければ幸いです。



三村 智彦

エンデバー・ユナイテッド株式会社 代表取締役

## 編集後記

1997年に日本のプライベート・エクイティ (PE) 事業がはじまって以来、30年弱が経過し、PEファンドの活動量は年々増えています。M&A案件におけるPEの割合もほぼ欧米レベルに達しました。日々のニュースの中でも、事業承継や非公開化、カーブアウト等のさまざまな企業ニーズに応える形で、普通にPEの話がでてくるようになってきました。PEが社会の中で一定の機能・役割を果たし始めた結果だと思われます。今後、さらにPEの認知を高め、業界が持続的に成長を実現するために、皆様の引続きのご支援とお引き立てをお願いいたします。

発行日	2024年8月30日
発行	一般社団法人 日本プライベート・エクイティ協会
発行責任	飯沼 良介
編集責任	枚山 幸功、櫻山 雄樹、佐藤 正秀、 中山 祥子、清水 俊孝
編集協力	株式会社ブレインズ・ネットワーク
Copyright © 2024 Japan Private Equity Association. All Rights Reserved	